



京都府立鴨沂高等学校同窓会

奨学金制度

2021（令和3年）年度 奨学生

寄稿文



感謝

3年 S・G

この度は、同窓会奨学生に採用していただき、ありがとうございました。数年前に父が他界し母子家庭の私にとってこの奨学金はとても大きなものでした。受験生となり本格的に勉強を行って行く中で、同窓会奨学金のお蔭で安心してしっかりと勉強に打ち込むことができ、無事に第一志望の大学に合格することができました。

また、しっかりと勉強に打ち込めたことだけでなく三年間高校に通い続けることができたのも同窓会奨学金のお蔭だと思います。私の家は学校から遠い為、毎朝一時間かけて電車で通学しています。そのため通学をするだけでとてもお金がかかってしまいます。そこでこの奨学金を利用することによって負担が少なく、学校に通うことができました。

そしてなにより、私だけでなく毎日私や弟、妹の為に働いてくれている母への負担を軽くしてあげられたことがとても嬉しいです。

この度、このような機会をいただけたことに感謝の気持ちを忘れず、これからの未来のために頑張っていきたいです。

感謝をこめて

2年 I・S

この度は奨学金制度を利用させていただき本当にありがとうございました。この制度のおかげで私は不安なく勉強することや学校生活が送れています。

二〇二〇年二月、日本中を不安とさせたコロナウイルス、学校も休校し、父の仕事も休みになり、母は仕事をリストラされました。東京から引越してきて祖父母も近くにいません。ぼくは今後どうなってしまうのだろうと不安でいっぱい毎日でした。そんな時、このような制度を紹介して頂き、少し心から不安が消えました。

私はまだ将来の夢が明確に決まっていません。しかし、今回の事のように、自分が困った時に助けてもらったように、自分も何か人の役に立てる事がしたいです。そのために今は勉強に専念して、ゆっくり将来の夢を描いていきたいです。

コロナというウイルスに世界中がおそわれた近年、世界中の常識もかわり、今でも地球の裏側ではたいへんなことがおきています。とにかく今の私ができることを日々感謝しながら一生懸命に生きていきたいです。

鴨沂高校同窓会の方々、この度はこのような機会をあたえて下さり本当にありがとうございました。

同窓会奨学金をいただいて

2年 M・F

一年間、奨学金を頂き有難うございました。大変、家族や僕自身の助けになりました。奨学金の主な使い道は、通学のための定期代、受験勉強のための参考書の費用や塾の月謝などになります。奨学金があったことで、バス通学が一時期可能になり、通学時間を勉強に活用することができました。他にも参考書が買えたり、塾の月謝の支払いが少し楽になったことで勉強する環境に恵まれた一年間でした。僕は、そのような環境下で、四年生私立大学への入学という希望進路の実現に向けて精一杯勉強を頑張りました。成績も評定平均 4.9 まで上げることが出来て、進路実現に着実に近づくことができました。

この一年間の成果は、同窓会奨学金があってこそそのものだったと思っているので、同窓会の皆様には本当に感謝しています。これからも後輩にお世代で鴨沂生に、沢山支援していただきたいと思います。そして、ゆくゆくは自分も鴨沂を支える同窓会の一員になりたいと思いました。一年間お世話になりました。そして、今後とも鴨沂をお願いします。僕もいつかお手伝いしたいと思います。

同窓会奨学金の寄稿文

2年 S・A

私はこの一年間、部活動や生徒会活動に熱心に取り組みました。私は、放送部と軽音楽部に所属しており、大会に行く際の交通費や楽器の維持費などに奨学金を使わせて頂きました。

私は軽音楽部でベースを担当しており、父からもらった古い物を使っています。だから少し弦がさびていて使いにくかったのですが、楽器屋さんメンテナンスを出してからは、とてもきれいになり、使いやすくなりました。今はそのベースを使い、二バンドで活動しています。練習は大変ですが、年に数回あるライブでたくさんのお客さんが拍手をしてくださったとき、とても充実しているなと実感します。また、生徒会活動では、文化祭やクリスマスイベントなどでみんなが楽しめるよう校内を飾りつけました。準備期間はとても忙しく、休憩時間に少しでもみんなが休めるように差し入れを持っていきました。そんな準備期間を経て、文化祭ではアンブレラスカイやアーチなど、クリスマスイベントではツリーなどを作り上げることができました。多くの生徒からも好評でとても達成感を得ることができました。また、進路についてもよく考えた一年でした。私には、アナウンサーになるという夢があります。その進路実現のためにどの大学のどの学部に進むべきなのか真剣に考えました。学校説明会に行ったり、塾や担任の先生と面談をしたり、参考書を購入したりしました。一年かけて希望進路を決めることはできたけれど、まだあまり勉強はできていないので、これからしっかりと購入した参考書も活用していきたいです。

最後になりましたが、同窓会のみなさん、一年間、本当にありがとうございました。

奨学金をいただいて

3年 F・T

この度は、奨学金を支給していただき、本当にありがとうございました。

私は、奨学金を大学の受験料の一部に使わせていただきました。また、大学の教科書代にも使用させていただく予定です。奨学金によって、受験回数を増やすことができました。私はもともと緊張しやすく、本番で自分の力を最大限に発揮できないので、受験回数を増やせたことで、心に余裕をもって受験できました。おかげで、第一志望の大学に合格することができました。私は、1, 2年生の頃は、小テストや定期考査の勉強、3年生の夏頃から受験勉強を主に頑張りました。1, 2年生の時からコツコツやっていた勉強は、受験にもいかすことができるので、後輩には日々の勉強も惜しまず頑張ってもらいたいです。私は、大学では幼児教育について学び、将来子どもと関わる職業に就きたいと思っています。まだ明確な夢はないのですが、勉強してさまざまな知識をつけることで、将来の選択を広げられるようにしたいです。

これからも、同窓会の皆様をはじめ、私を支えてくださった家族や友達、先生方の感謝を忘れず、日々成長していきたいです。また、奨学生としての自覚を持って、気の緩むことのないよう、残りの高校生活を充実したものにしたいです。

私の夢

3年 K・H

私には夢がある。それは「歴史を研究し、我々がどう生きてゆくべきか」を考えるということである。

この夢をかなえるための一番の近道は大学進学であることは疑う余地のない事実だ。しかしながら、大学に進学するためには大学受験が必須だ。ここで問題になるのは金銭的なものだ。受験料も私学であれば莫大だ。

そのため私は奨学金を受験料や入学時の資金として用いることに決めた。奨学金を有効に活用して大学に進学し、鴨沂生として恥ずかしくないようにしたい。

ここからは個人的な事項となるが、私がどのような事柄を大学で学びたいかについて述べるとしようと思う。

先に述べてはいるが、それが大学卒業時の最終目標である。その前に研究しておきたいのは、「歴史の形成において人類がどのように関わってきたか」についてである。歴史上で特に中世で多く取り上げられるのは為政者の行動である。日本史になるとこれが特に顕著である。しかし、江戸時代に民衆によって文化が発展した例のように民衆が歴史に与えた影響も多いと考える。

そのため私は大学で民衆の歴史に与えた影響について研究しこれからの社会で私たち自身が歴史の担い手になれる方策を考えていきたいと思っている。

また、私自身体が不自由な中生活しているので歴史と障害者の関係について研究し、今後の生活をより良いものとしていきたいと思っている。

また、私の祖父が、京都の八瀬の出身であり、八瀬は皇族との関係が深い地域なのでそのような地域の歴史についても研究していきたいと思っている。

ここまで示したような研究をするためにも私は奨学金を有効活用して大学に進学したいと考えている。